



主 題 名 外国人について知ろう

教 材 名 二つの祖国を持って（「ちがうことこそすばらしい!子ども作文コンクール」入賞作品）

人権学習の視点 個別的な視点「外国人の人権問題」

主題・教材について 外国人の人権問題については、在日韓国・朝鮮人の人権問題の他、新たに渡日した外国人や国際結婚により生まれた人の人権問題があげられる。外国人に対する偏見や差別意識を解消し、外国人の持つ文化、宗教、生活習慣等における多様性に対して寛容な態度を持ち、これを尊重するなど、共に生きていく資質や能力を育成する必要がある。ここでは「二つの祖国」を持ったことを誇りに思えるようになった「ぼく」の心の成長にせまり、外国人や「ダブル（ハーフ）」への偏見の解消につなげたい。

ね ら い 民族や国籍の違いを越えて、人と人が触れ合うことのすばらしさや楽しさに気付き、お互いの違いやよさを認め合うことの大切さを理解する。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○まわりで外国人に出会った経験を思い出させる。	一斉	○日常生活で外国人に出会った時の様子を発表する。	○地域性に配慮しながら、できるだけ身近な経験を取り上げ、素直な気持ちを引き出す。	
展	○資料を読み聞かせる。	一斉	○「二つの祖国を持って」を聞く。	○場面をイメージさせながら、ぼくの気持ちの変化に着目させるようにする。	資料 「二つの祖国を持って」
	<b>「二つの祖国を持って良かった」と思えたのはなぜだろう</b>				
開	○「ぼく」が「二つの祖国を持って良かったと思う」理由を考え、発表させる。	個別 一斉	○「ぼく」の気持ちを考えて、自分の意見をワークシートに書き、発表する。	○「ぼく」の学んだことや経験したことをもとに、ダブルに生まれて良かったと思えるようになった気持ちを捉えさせるようにする。	ワークシート 問1
	<b>日本に住む外国人について知ろう</b>				
まとめ	○身のまわりの外国人への偏見や差別の意識について考えさせる。	一斉	○自分の身のまわりの外国人への偏見や差別について考える。	○外国人やダブルのよさを認め、文化や価値観の違いを認める大切さに気付かせる。	
	○感想を書き発表をさせる中で、お互いの違いやよさを認め合うことの大切さを理解させる。 ○日本における外国人の状況について説明する。	個別 一斉  一斉	○学習を振り返って感想を書き、発表する。  ○教師の話を書く。	○お互いの違いやよさを認め合うことの大切さに気付かせる。  ○日本における外国人の割合の増加や、「ダブル」について触れてもよい。	ワークシート 問2  指導資料 ①～③

評 価 民族や国籍の違いを越えて、人と人が触れ合うことのすばらしさ、お互いの違いやよさを認め合うことの大切さを理解することができたか。

